

100V用

# バンドヒーター YGSN

ドラム缶・ペール缶・一斗缶用

⚠ 注意事項 及び 取扱説明書



PSE対応



# ご使用の前に

本製品は工業用途専用（工場、事業所）を目的に開発・設計された製品です。従って、一般（民生）用途には適合致しません。

本書はその取扱いについて安全にご使用頂くための要領及び注意事項をご説明するものです。記載事項及び関連事項の各事項に従うと共に関連法規を遵守の上ご使用願います。

納入された製品は直ちに次の事を確認して下さい。

①使用電圧と現品の定格電圧

②輸送中の損傷の有無

## 本説明書について

- 説明書の内容は、製品の性能・機能の向上により将来予告なく変更することがあります。
- 説明書の全部または一部を無断で転載、複製することは禁止しています。
- 説明書を紛失したときは、当社までお問い合わせください。
- 説明書の内容に関しては万全を期していますが、万一不審な点や誤り、記載漏れにお気付きの際にはお手数ですが当社まで、ご連絡下さい。

## 製品の保証に関して

### ●製品の保証の範囲

製品の引渡し後一年以内に限り、お客様からの検証を受け弊社が欠陥品と判断した場合には、無償修理もしくは納入品の取替えをさせて頂きます。但し、製品の欠陥に起因するお客様の装置・機器への損害については製造物責任法に定める場合を除き責任を負いません。また製品保証の対象は日本国内でご使用される場合に限ります。

### ●保証の対象外となる事項

- ① お客様側で本書の各項に記載の注意事項、及び禁止事項を守らずに取り付け使用されて起きた故障、損傷。
- ② 製品の定格・仕様を超えたご使用に起因する故障、損傷。
- ③ 弊社以外による施工、改造、修理に起因した故障、損傷。
- ④ 火災、地震、雷、風水害に依る天災及び電圧異常など弊社側の責任ではない外的要因による故障、損傷。

### ●その他

弊社製品は工業用途向けの汎用品として設計・製造しております。人命や財産に影響が予想される用途及び細密な温度管理を必要とする用途につきましては必ず事前にお客様側で適合性をご確認の上、ご使用願います。

《お問い合わせ先》

株式会社 ヤガミ  
産業電熱システム事業部

東京支店 TEL(03)3915-5881(ダイヤルイン)  
大阪支店 TEL(06)6702-9355(ダイヤルイン)  
mail:heater\_contact@yagami-inc.co.jp  
HP:<http://www.yagami-inc.co.jp/view/heater/index>

## 取扱い注意事項



### 警 告 (warning)

#### 感電の危険



感電注意

- 温度調節器及びヒーター本体の分解・改造はお止め下さい。
- 適合する使用目的以外への転用はお止め下さい。
- 当製品は、防滴構造ではありません。湿気の多い場所、水の掛かる場所でのご使用はお止め下さい。
- 本製品の取付や取外しを行う場合や保守点検を行う場合は、必ず一次電源を遮断してから行って下さい。
- 濡れた手で触らないで下さい。

#### 火傷の危険



火傷注意

- 本製品の取付や取外しを行う場合や保守点検を行う場合は、必ず一次電源を遮断し、本体ヒーター加熱面の温度が常温の状態に戻ってから作業を行ってください。
- 運転中、ヒーターの外装に素手で触れないで下さい。

#### 火災の危険



火災

- 非危険場所用です。危険場所または危険物には使用しないで下さい。
- 危険物等可燃物の入った容器には使用できません。また付近での使用もお止め下さい。
- 損傷したヒーターの修理及び再使用はしないでください。

#### 注 意



- ご使用前に必ず本書をお読み下さい。併せて本書をご利用頂くと共に保管願います。
- 本製品の定格電圧及びその他の性能をお確かめの上、必ず本取説に記載の定格電圧以内でご使用ください。
- 外部より衝撃・振動を与えないで下さい。
- ドラム缶／ペール缶／一斗缶専用のバンドヒーターです。他の目的には使用しないで下さい。

## バンドヒーターの概要 [1]

### 1. 取付状態



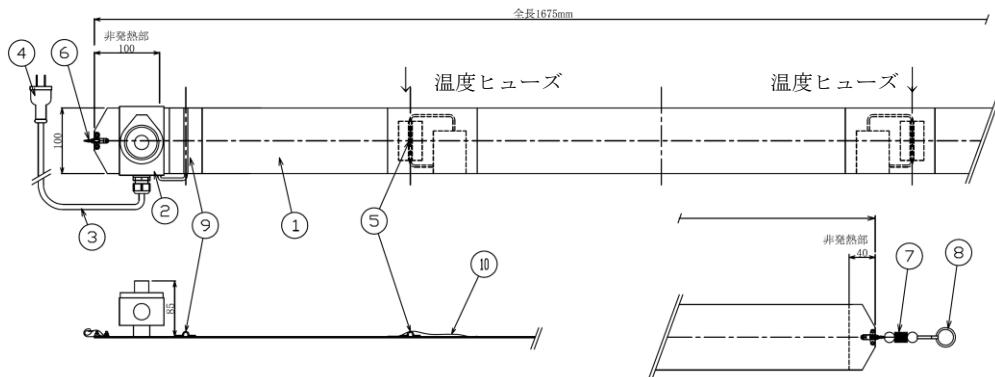
### 2. 仕様

型式	適合缶	電圧	出力	温調範囲	外形寸法	重量
YGSN-200-1	ドラム缶用	100V	750W	30~80°C	幅100mm×1675mm	1.3kg
YGSN-20-1	ペール缶用		300W		幅100mm×790mm	1.0kg
YGSN-18-1	一斗缶用		300W		幅100mm×900mm	1.2kg

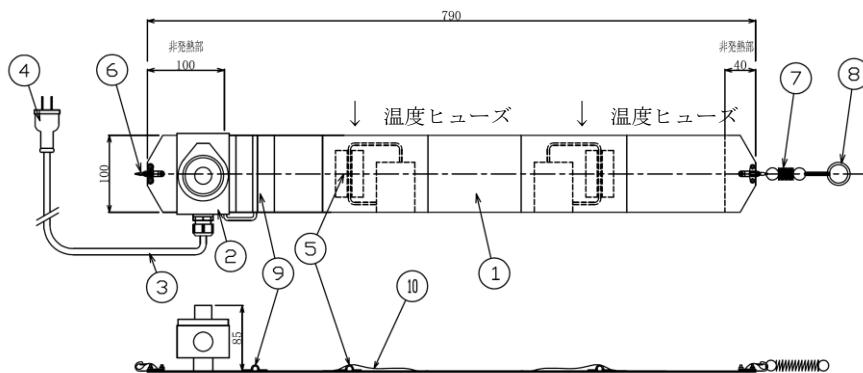
## バンドヒーターの概要 [2]

### 3. 各部名称

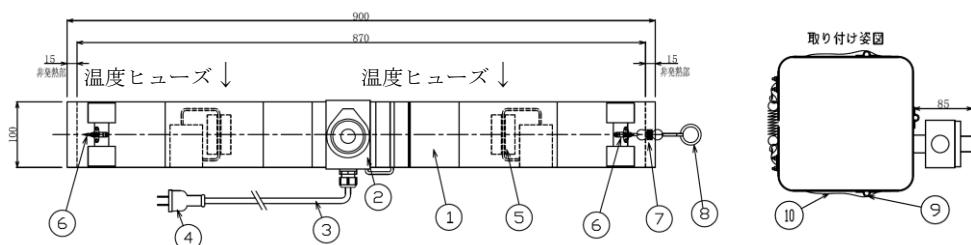
#### ● ドラム缶用 YGSN-200-1



#### ● ペール缶用 YGSN-20-1



#### ● 一斗缶用 YGSN-18-1



番号	名称	備考
1	シリコンラバーヒーター	シリコン1.5t
2	温度調節器	EGO(ケースSUS430)30~80°C
3	電源ケーブル	2PNCT-2芯-1.25Sq 2m
4	コンセントプラグ	MP2552
5	温度ヒューズ	MICROTEMP E4A50 152°C

番号	名称	備考
6	金属フック	SUS
7	スプリング	SUS
8	引っ張りリング	ニッケルメッキ
9	センサーポケット	シリコン
10	シートカバー	シリコン

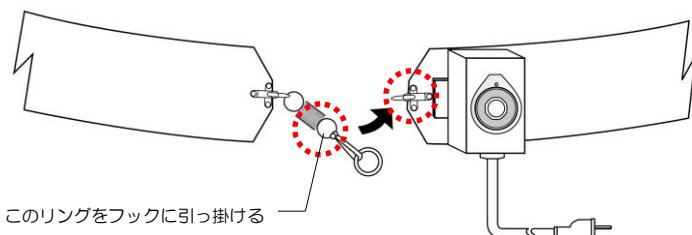
## 1. 運転方法

### 準備

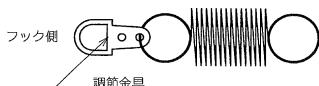
- ① バンドヒーター用として単独の漏電ブレーカーを設置して下さい。
- ② 電気用品安全法（PSE）に準拠した製品ですが、アース機構は設けられていません。万が一損傷した場合、漏電する可能性がありますので、必ず容器本体からアースを接地して下さい。  
また、プラスチック製のパレット（絶縁物）等の上に容器をのせた場合は、帯電する可能性がありますので、必ず容器本体からアースを接地して下さい。
- ③ 容器の加熱面を目視でチェックし、表面の異物、錆、汚れ（油など）を取り除き清掃して下さい。

### 取付

- ① 容器にバンドヒーターを廻し、下図のように引っ張りリングに指をかけ、スプリングをフックに取付します。ドラム缶用は、サイズが大きいのでなるべく2人で取付を行ってください。



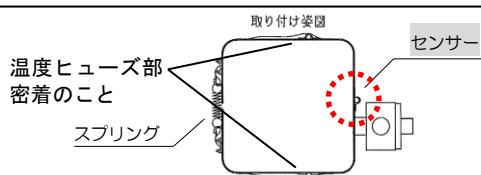
※ スプリングが届かない時は、付属の調節金具にて長さを調節してください。



- ② 取付後、バンドヒーターに浮きがないか全周を確認して下さい。  
(特に温度ヒューズ部分2箇所は、必ず密着させてください。)

#### ● 一斗缶用バンドヒーター（YGSN-18-1）の場合

一斗缶に取り付ける場合は、センサーが容器側面中央に位置するよう取付けて下さい。（※図参照）



### △ 取付時の注意事項

- ・本ヒーターは、過昇温防止の為の温度ヒューズが2箇所取り付けられています。この部分が浮いた状態で運転されると、容器に熱が伝わらず過昇温となり、温度ヒューズが切れる可能性があります。温度ヒューズが切れた場合、お客様での交換は出来ませんので、弊社まで温度ヒューズの交換依頼をお願いします。但し、取付時の注意事項を守らずに起きた温度ヒューズの故障や、お客様側での取扱いに起因する故障については有償となります。

**バンドヒーターに浮きがないか、特に温度ヒューズ取付部分（2箇所）が浮いていないか、必ず密着していることを確認して運転を行ってください。**

（写真はペール缶用ですが、ドラム缶、一斗缶共通事項です。）

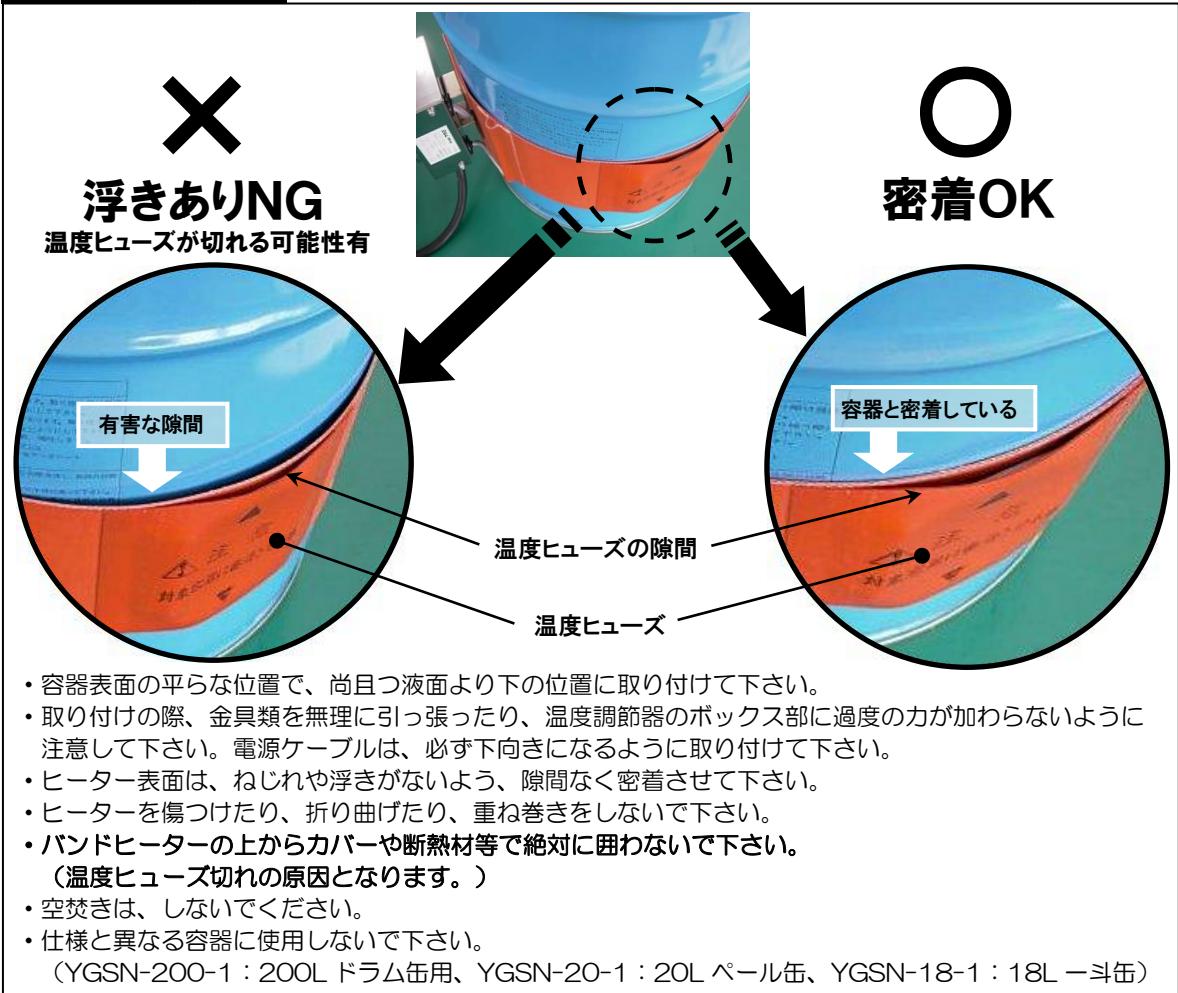


温度ヒューズ:表面

- ・光沢のあるラバーシートにて保護されています。
- ・保護ラバーシート表面に注意を促す印字がされています。
- ・本体ラバーヒーターと保護ラバーシートの間に温度ヒューズが入っていますので隙間があります。

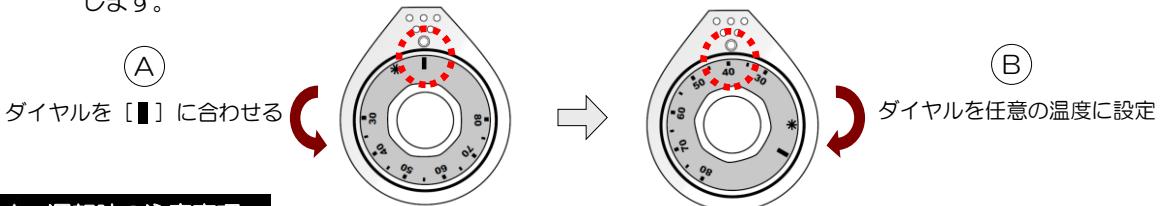
## 施工要領及び注意事項 [2]

### △ 取付時の注意事項



### 運転

- ① 取付状態に問題ないことを確認できましたら、ダイヤルを左に廻し（※下図Ⓐ参照）コンセントプラグをコンセントに差し込んで下さい。
- ② 温度調節器のダイヤルを右に廻し（※下図Ⓑ参照）任意の温度に設定して下さい。運転を開始いたします。



### △ 運転時の注意事項

- 設定温度と内容物の温度とは異なりますのでご注意下さい。
- 運転中は、容器のキャップを開けて下さい。  
(ふきこぼれがないよう注意して下さい。)
- ヒーターに直接素手で触れないで下さい。
- 空焚きは、しないで下さい。

## 施工要領及び注意事項 [3]

### 2. 過昇温防止ヒューズについて（重要事項）

本ヒーターは、過昇温防止（異常過熱防止）ヒューズが2個内蔵されております。そのため、空焚き等正常でない使い方をした場合（取付時の注意事項を守らなかった場合）にこの温度ヒューズが作動する可能性があります。作動した（温度ヒューズが切れた）場合には、お客様での交換はできませんので弊社まで温度ヒューズの交換依頼をお願い致します。

但し、本書に記載の注意事項を守らずに起きた故障やお客様側での取扱い上に起因する故障については有償となります。

### 3. メンテナンス

#### ① 定期的に下記点検を行い、必ず使用する前に異常のない事を確認し記録してください。

外観：目視により、有害な傷及び変形、磨耗等がないことを確認する。

絶縁：DC500V 絶縁抵抗計で絶縁抵抗に異常がないこと（10MΩ以上）を確認する。

抵抗値：テスターでヒーターの抵抗値を測定し、その抵抗値が公差内であることを確認する。

（公差：総負荷あたり±10%以内）

#### ② 保管及び再使用の際の注意事項

- ・長期間使用しない場合は、容器から取外し、表面の汚れ等をふき取り、折り曲げたりせず、清潔で乾燥した場所に保管してください。
- ・再使用する場合は、必ず上記の点検（外観／絶縁／抵抗値）を実施の上ご使用ください。

#### ⚠ 注意

万一、製品の稼動中に不具合を感知された場合には使用を継続せず、速やかに当社又はそれぞれの施工者、代理店に詳細な状況を連絡し対処をご相談下さい。製品の撤去、又は補修後にご連絡頂いた場合は不具合原因の特定が困難となりさらには保証対象外となります。



保温加熱をデザインする

株式会社 ヤガミ

産業電熱システム事業部

東京 TEL(03)3915-5881(ダイヤルイン) FAX(03)3917-2234

大阪 TEL(06)6702-9355(ダイヤルイン) FAX(06)6702-9987